



上田薬剤師会 発

薬剤師の

# ちょっと薬に立つお話

YAKUNI  
TATSU  
OHANASHI  
VOL. 49

Vol. 49

地域の皆さんの健康のために  
さまざまな活動をしている  
上田薬剤師会から、  
健やかな毎日をつくるために  
ちょっと役立つお話を  
お届けしていきます。

毎月「第2土曜日」の  
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!



おかげさまで  
連載開始4周年!

国が推進する「医薬分業」において、上田薬剤師会の先進的な活動は全国的に注目されています。その活動内容を地元の皆様にわかりやすくお伝えするため、月に1回、第2土曜日の週刊うえだに掲載している「薬剤師の ちょっと薬(やく)に立つお話」。皆様のおかげで今号から連載5年目に突入しました。地域の皆様の健康維持・増進に少しでも貢献すべく、いっそうわかりやすい情報発信に努めてまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## 今月のTOPICS

### 新任薬剤師さん に聞きました!

この春、上田薬剤師会の会員薬局に赴任した薬剤師の有馬佳奈美さんに、上田薬剤師会の印象を聞きました。

#### ご出身はどちらですか?

東京の練馬です。私の住んでいた練馬区は、上田市(旧武石村)と姉妹都市だったので、幼い頃から何度も訪れていました。自然が多く好きで、当時から「信州人になりたい」と思っていたほどです。大学時代に実習先の地域を選ぶのですが、迷わず「上田」を希望しました。実習は上田市内の薬局で12週間、充実した時間を過ごしました。



▲実習当時のレポート

#### どうして上田に来られたのですか?

東京の薬科大学を卒業して、実家から通える東京の企業に就職。4年弱、ドラッグストア内の調剤部門で勤務していましたが、「地元を良くしたい!」という思いで就職したのですが、理想と現実のはざまです。悩んでいた折、いろんなきっかけがあって、この憧れの「上田」で春からお世話になっています。

#### 上田はどんな印象ですか?

薬局が「地域の中にある」感じがします。薬剤師は処方せんを処理するだけの仕事じゃない。みなさんが未来を見据えつつ「患者さんのために」働いていて、とても楽しそうです。私自身も今、楽しくてしょうがないです。

それと、患者さんが薬剤師・薬局の使い方を良く知っている感じがします。何かあった時にすぐ病院に行くのではなく、まず薬局にいらっしゃる。この週刊うえだもそうですが、しっかり情報を発信して、地域の人に理解してもらっているからだと思います。

#### これから、どんな薬剤師になりたいですか?

地域とのかかわりを強くもって、地域に根差した薬剤師になりたいです。そのためには、医療資源など地域のことをよく理解しないとイケないので、お休みの日は地図を持ってうろうろ(笑)町のことをいろいろ確かめながら歩いています。



## 10月17日(火)~23日(月)は 薬と健康の週間です

「薬と健康の週間」は、医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを一人でも多くの方に知ってもらうために、ポスター、リーフレットの配布やイベントの実施など積極的な啓発活動を行う週間です。薬剤師の横林邦明さんにお話を聞きました。



### 「かかりつけ薬剤師・薬局」はお持ちですか?



▲薬と健康の週間ポスター

地域にお住まいのみなさんの健康を維持・向上するため、上田薬剤師会ではこの週間に限らず常にさまざまな活動をしています。

この「ちょっと薬に立つお話」では何度も登場している話題ですが、みなさんも自分の「かかりつけ薬剤師・薬局」はお決まりですか? かかりつけの薬剤師がいれば、たくさんのいいことがあります。たとえば

- ・自分のお薬の情報を一元管理してくれる
- ・薬のことを24時間365日、相談できる
- ・一人の薬剤師さんがずっと対応してくれる...など。

それでも、「まずはどの薬局から選んでいいかわからない」人に、ヒントをお伝えします。

### 「かかりつけ薬剤師・薬局」を選ぶひとつの目安にしてください 上田薬剤師会「認定基準薬局」



このマークはもうおなじみでしょうか。上田薬剤師会の認定基準薬局のマークです。地域の皆さまに「選ばれる薬局」になるために、国で設定した基準よりも厳しい、上田独自の基準を満たした薬局にのみ掲示が許されています。

評価の項目は6区分、全34項目。100点満点で70点以上が合格ですが、項目によって配点が異なり、重要視されるものは高い配点になっています。たとえば...

- ・休日や夜間など、時間外でも対応する態勢がある
- ・医療用医薬品だけでなく、一般用医薬品、介護用品、医療機器など、幅広い品目を取扱う
- ・在宅での薬剤管理が可能である
- ・地域への社会活動に貢献している など

これらを満たした認定基準薬局の店頭には認定マークのほかグリーンクロス看板(写真)が掲示されていたり、ピクトグラムステッカーが貼られています(次回特集予定)。よく見極めて、そこからあなたにぴったりの「かかりつけ薬剤師・薬局」を選んでください。

これが目印。夜間でも電飾がよく目立つ、店頭でのグリーンクロス看板



チエックシート。満点は100点。



## はい、お答えします!

Q. 塗り薬には軟膏とクリームがありますが、どう違うのですか? (上田市天神 39歳 男性)

A. 「軟膏」は、油がメインでベタベタした使用感が特徴です。薬効の他に皮膚を保護する働きがあり、掻き壊した湿疹部に塗っても刺激がほとんどありません。「クリーム」は油と水が混ざったお薬で、比較的ベタつかず、皮膚に薬が浸透しやすいのが特徴です。こちらは傷に塗ると刺激がある場合もあります。外用薬の選択についても、詳しくはかかりつけ薬剤師・薬局におたずねください。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先 八ガキ 〒386-0012 上田中央6-3-41  
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp  
FAX 0268-22-6201

